



中央アジア地域ニュース

タジキスタン：経済特区創設構想 (4月13日付国営ハーヴァル通信)

1. 4月11日、ラフモン大統領はUAEを訪問し、第一回貿易経済投資フォーラムで「タジキスタンにおいて投資プロジェクトを推進する最も妥当な方法は、タジキスタンに3つのフリーゾーンを創設することだと我々は考えている。これら経済フリーゾーンは、タジキスタンの経済発展のための最も重要なファクターの一つとなるであろう」と述べた。
2. 12日、ラフモン大統領は、UAEのハムダーン・ビン・ラーシド・アル・マクトゥーム財務工業大臣と経済協力及び投資拡大について協議し、両者は両国における経済投資協力の拡大がタジキスタンの生活水準を向上させるとの見解で一致した。ハムダーン財務工業大臣は、両国の協力関係の発展のためにUAEの民間企業を参加させるというラフモン大統領の提案に同意した。
3. 同日、ラフモン大統領は、ジャバル・アリ・フリーゾーン(JAFZ)を訪問し、世界中の企業が参加する「ドバイ・ワールド社」について紹介を受けた。同社のスルターン・アフマド・ビン・スラーエム社長は、「経済フリーゾーンは、UAEの発展に大いに貢献してきた。タジキスタンで同様の経済特区を創設するために協力する用意がある。輸出入にかかる税金をなくすことは、その国の歳入を減らすことにはならず、その代わりに外国技術の導入と投資を呼び込み、タジキスタンの人々に仕事を供給することになる」と述べた。